

## 第2回住田町水道審議会 議事録

【開催日、場所】令和4年1月1日（火） 合地沢浄水場、住田町役場 町民ホール

【出席者】菅沼委員、高木委員、菅野委員、紺野委員、水野委員、佐々木委員、千葉委員、菊池委員、泉委員、事務局4名

### ○浄水場見学

世田米地区における浄水場である「合地沢浄水場」を見学

### ○協議

#### ①住田町地域水道ビジョン(素案)について

(事務局) それでは、協議に入ります。これより会長より会議の進行をお願いいたします。

(千葉会長) はい。進行させていただきます。水道ビジョンの説明を事務局よりお願いします。

(事務局) ～資料1に基づいて、事務局より説明～

(千葉会長) 今の事務局の説明にご意見ご質問ありますか。

(委員) 確認事項ですけれども、11ページの表の中にある※印の超過項目という解説文はないのか、実際この超過項目が世田米、上有住とあるがどのようなものなのか、内容の詳細等も伺いたい。

(事務局) 水質検査の項目は、法律で決まっているもの。それに加えて過去に基準値以下であるが数値が検出された項目が超過項目になる。その項目が、もう出ていないかを確認するために超過項目として、念のためプラスアルファで検査している項目がこの超過項目となります。

(委員) 要するに1回でも検査で検出された項目について、その後は毎年、盛り込むってことですね。

(事務局) その説明を検査結果としてホームページで公表したいということで、ビジョンの取り組み内容として記載していました。

(委員) そうなりますと、例えば他でも新たに出了場合は、追加で将来的に増えることもあり得るわけですね。

(千葉会長) その他に皆さん質問ありますか。

(委員) 最近の気候変動で、過去に渇水により給水制限を呼び掛けたこともあった。その意味では、原水の基となる山の森林管理も水道ビジョンに盛り込んだ方がいいのではないかと。

(千葉会長) 今も取水場で水源涵養林は設定されているのか。

(事務局) 水源涵養林が設定されている箇所はあると思いますが、取水場の近くか、どの位置かは把握してはいません。

(委員) 13ページの補てん財源は、内部留保している資金としていますが、このビジョンの中では内部留保の規模についての記載がありませんが、記載しないのか。

(事務局) 内部留保に関する記載は、水道ビジョンの中には記載しておりません。記載する場合は12ページに関わる部分で、収益的収支の内部留保分を記載することになると思います。

(千葉会長) 13ページの補てん財源が内部留保ではないのか。

(事務局) この補てん財源は、内部留保のうち資本的収支の差額を充てる部分になっています。

(委員) それでは補てん財源から取り崩して、令和元年と2年と金額を毎年計上しているという解釈でよろしいでしょうか？

(事務局) 資本的収支の足りない部分は収益的収支からの補てんになります。収益的収支の留保の総額が分かるように記載を考えたいと思います。

(委員) 内部留保資金がどのくらいか数字を教えてくださいたいと思います。

(千葉会長) 現金がいくらあるかが留保財源の規模になるのではないかと。

(事務局) 現金自体は、3億2000万です。企業会計スタート初年度は2億円。基金を取り崩して現金を持った状態でスタートしているという形になります。

(委員) スタートの現金が分かる水道ビジョンであった方がいい。3億の現金があるというのを

今のビジョンでは読み見取れない。

(事務局) 資料2の6ページに現金総額の推移がありますので、この部分を掲載して令和2年度当初の現金がいくらかを示したいと思います。

(委員) 当初の現金残高は分かりましたが、そうすると資料2の現金増加額が水道ビジョン内の補てん財源との減少額が合わないのではないかと。

(事務局) 現金残高については、純利益で出た現預金の他に、当該年度の減価償却費から長期前受金戻入の部分を差し引いた額を加えての現金残高となります。

(委員) その説明がつけば、このグラフ自体は間違いではないのかなと思います。

(千葉会長) 現金総額と増加額の推移のグラフが、なにに対応しているのかが示されていないので分かりにくい。

(委員) 誰が見ても全体像が把握しやすい方がいい。正直水道ビジョン内でも読み取れなかった。いずれ整合性をとった水道ビジョンにまとめてという話です。

(千葉会長) みんなが見てわかりやすいように直していただきたい。現金の数字に対応するものはこれですといったものがあればわかりやすい。

(委員) 18ページで、収益的収支と純利益の推計のグラフの下落の部分や補てん財源の大幅な増額部分の理由に触れた文章にできないものか。ビジョンには「簡易水道事業経営戦略に記載」と書いているが、一般の方は理解が難しいと思う。

(千葉会長) 補てん財源についても、町から足りない分を補てんしてくれる財源と理解してしまう。

(委員) このグラフでの減少は、町補助金が少なくなったことを受けて、純利益の額が減少したというふうに解釈してよろしいでしょうか。

(事務局) 一般会計からの繰入金が減っているの、純利益も減っているというところですか。

(委員) 令和4年度以降から繰入金が大きく減っている理由は。

(事務局) 国の基準により、一般会計から繰入金を受けているが、企業会計に移行したことによってその基準の考え方が変更になるため、試算すると繰入金が大きく減っています。

しかし、現在、その基準の考え方を県の方に問い合わせしており、これまでと同じ考え方になる可能性がある。現在確認中でした。

(委員) それでは町からの繰入金が令和4年から減少し、今後低水準で進むということですね。

(千葉会長) 私が聞くのもですけど、純利益のグラフの推移は純利益があり、次の年も純利益があるならば積み上げられるわけではないのですか。

(事務局) ビジョン内のグラフは当年度(単年度)の純利益を示しています。

(千葉会長) それでもいいですが、単年の利益出ているが、次の年にその利益はどこにいったのか。

(事務局) 繰越の利益となっています。

(千葉会長) このグラフには入っていないという話。だからわかりにくい。企業では利益は繰越で足していく。グラフには行き先の説明がないから、わからなくなる。足した額が現金残と理解していいですね。

(委員) 現金が増え続けているのは、毎年単年度に出ている純利益を足しているから、グラフも上昇しているという解釈ですか。

(千葉会長) 増加分が純利益の数字じゃないですよ、この通りの増加になっていないですよ。

(事務局) 純利益以上に施設整備費用がかかるので現金が減っていくという意味になります。純利益は出っていますが、それ以上に資本的支出が出ているので、現金自体は減るというイメージになります。

繰越の現金規模を示した方がわかりやすいので、そのような表に修正したいと思います。

(千葉会長) 更新にかかる支出があるから純利益が出てても現金が増えていないという話ですね。

その他に聞いておきたいというのはありますか。いいですか。

## ②将来を見通した財政投資計画、経営戦略目標値について、③水道料金について

(千葉会長) 次に将来を見通した財政投資計画と経営戦略の目標値について事務局より説明をお願いします。

(事務局) ～資料2に基づいて、事務局より説明～

(千葉会長) 水道料金についても一緒に説明した方がいいのでは。

(事務局) ～資料3に基づいて、事務局より説明～

(千葉会長) 料金の説明の中で収入増をどうしたらいいのか、その辺を皆さんに聞いてほしいというところでいいですか。財政投資計画は、9ページの下段から10ページについてお話ししたいという話でいいですね。皆さんから何かありませんか。

(委員) 確認したいのは、住田町の水道事業は県から広域化推進プランがでていますが、住田町では広域化は考えないで、町単独の事業として、この10年のビジョンは進めていくという基本的な考え方でいいか。

(事務局) 運営自体は単独で、施設統合は地理的な条件から考えられてはいない。ただし、水質検査等の委託業務に関しては、気仙3市町合同でやれば経費が抑えられると想定されるということで、検討会を今後行う予定になっております。

(千葉会長) 水道料金は今のところ問題なさそうだが、それでも収入を増やさなければならないのか。

(事務局) これから施設の更新費用が出てくる中で、現行の水道料金の場合単年度400万で財源をストックしていく試算ですが、施設更新が現状で足りるかどうかという検討事項で今回説明した次第です。

(千葉会長) 足りるかどうかはここにいる私たちはわかりません。どのくらい更新に経費が掛かり、どの程度増やさないと駄目だとか、現状だと10年は大丈夫だとか、そういう話が出てこない議論はできない。

(委員) 現在の経営方針については、いいと思う。ただし、施設更新計画がはっきりしないと、検討にならない。

(事務局) 施設更新費用の規模は、こちらでもまだはっきりとわからない状況です。事業開始に作った施設の価格が現在上昇している可能性もあり、どのくらいの費用がかかるか、わからない状態です。更新する総額は、現状の更新計画がない中では分からない。更新計画を策定した後に、料金検討に入れるという考えです。

(千葉会長) それでは更新計画策定を委託したらいいのではないかと。更新費用の総額があつて、料金をいくら徴収したらいいかわからないと我々では判断できません。

(委員) まず有収率目標の75%に近づけるためには、どの管路を直したらいいかを考えるべき。(計画は)地域で年度が違い、手法も様々なようなので整理して、配管の更新工事を進めてほしい。

(千葉会長) 有収率は、住田町は71.5%、全国平均が75.1%、全国平均の75%に近づけたいということですね。料金回収率は？

(事務局) 料金回収率は令和3年度決算で90.4%です。試算では、令和7年で92.9%になります。料金回収率は、維持管理等の費用を料金でどれくらい回収しているかという率です。

(委員) 供給単価270円と給水原価290円、これが供給単価290円に対して給水単価290円であれば100%ということですね。

(事務局) そういうことです。

(千葉会長) 収入増とする根拠が分からない。収入増か、現状のままかは、これからかかる費用が出てこないかわからない。

(事務局) これからの更新費用の規模で判断できると思っています。実際、今後の費用規模がわからないと何とも言えないと思います。

(委員) 3年度決算は、営業損失が4,800万円だが、町からの繰入金で賄っている。料金だけで賄っていないことから、その辺をどう考えるか。簡易水道の恩恵を受けない人もいる中で、繰入金を含めて、現在の水道料金を判断しなければならない。

(千葉会長) 不公平でないかと言われればあると思う。各地区で簡易水道区域外は地区ごとに管理している。

(委員) これは私の考えですが、公営企業会計への移行は国における水道事業の民営化へのルールだと思います。事業収益だけで運営という方向性ですが、基本的には無理。これは公共サービスであつて、儲けという次元じゃない。税金である程度補填して、安価な料金で提供できると思います。

- (千葉会長) それと各地区の簡易水道以外の水道と公平性が保たれているのかという話。
- (事務局) 給水区域外の方々には、公平性を保つ意味で施設整備に関して補助金制度を設けております。
- (千葉委員) 老朽化しての更新にも補助金を交付するのか。
- (事務局) 一度補助金を活用した場合、10年経過しないと再度補助金が活用できないという仕組み。例えば、5年経過して故障したため再度補助金を活用ということは、現在の制度上はない。
- (千葉委員) 補助金のルールを変えればいいのでは。
- (事務局) も検討事項として、あると思います。
- (千葉会長) 台風などで壊れ、直すのはお金がかかる時の対策は考えているか。
- (事務局) 飲料水施設補助については、災害時の明記は要綱上ありません。
- (委員) この補助制度は住民の方は分からない人は多い。補助制度により、実施しているということを知りました。
- (千葉会長) 今までの話の中で、これだけは聞いておきたい、意見はございませんか。
- (委員) 今後5年の収支で設備投資の方針を考えると、現金3億は財源とせず、毎年出る純利益のみで長期的な設備更新費用を賄うという考え方なのか。
- (事務局) 耐用年数超過の機械電気設備を全部更新すると、3億円の費用と予想していますが、今後到来する水道管の更新費用をどうするかというところですよ。
- (委員) 全ての必要な更新が済んだときには、現金がほとんどないと捉えていいのでしょうか。
- (事務局) 建設改良費を年1000万~1200万円と仮定し、純利益の推移でみるとR12年では収支がなくなるという推計になっています。  
収益は毎年出ていますので、財源は減っていない。現行料金で行った場合にこの令和12年から純利益がなくなり、現金が減少していくという状況になるという説明です。
- (委員) 12年度までは現金3億のまま。今の状況で12年度からは純利益でなくなることから、そこから料金の値上げを考えるか。その前に投資をどこまでするか。  
また最初に戻るが、ある程度何を直すかを決めないと、料金改定は今の段階ではできないと思います。  
さらに資材が上がる可能性もあるが、現時点での目安は必要ではないかな。
- (委員) 現在の方針は、現状の設備をそのまま更新することが大前提になっている。  
人口減少により、浄水場の数が現状よりも少なくても維持できるのではと考え方もある。  
そのような議論をはされた上で、今回のビジョンや計画となっているか伺いたい。それもまた今後運営しながら状況に応じて考えるのか。
- (事務局) 施設更新の規模は現在白紙であります。ただおっしゃる通り、人口減もありますので施設規模の見直しは必要と感じている。先の話にもなるので、様子を見て考えたい。
- (千葉会長) 今の話を聞くと、当面はこの計画でいいかなと私は思いますが、皆さんどう思いますか。
- (委員) 私はまだ判断材料がないと思います。
- (委員) 資料2の現状課題で「明確な施設更新計画が未策定」とある。この計画がないと施設更新を含む財政投資計画はこれでいいと示すのは難しい。しかし、令和12年から純利益が生じないのはその通りである。その中で維持管理の民間委託、職員体制、広域化の部分を盛り込むかが、審議会の最終的な答申になるかと考える。
- (千葉会長) 財政投資計画については、明確な施設更新計画が出てこないと答えが出ないということ。計画期間は12年までとしているが、更新計画ができた時点で、再度議論する必要がある。  
料金についてはみなさんどうですか。
- (委員) 現状および方針いいが、大幅に料金を引き上げるとなると抵抗がある。
- (千葉委員) 財政計画は10年だが、10年間では見通せない。先ほども話した通り、更新計画策定後、今後の施設更新費用の見通しがついた時点で再度議論するしかない。  
皆さん何かほかにありますか。それでは審議については終わらせていただきます。
- (事務局) どうもありがとうございました。本日審議していただいた内容を次回の来年2月に最終案、答申案として提示させていただきます。以上をもちまして第2回水道審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。